

最近の本学の取組等について
2025.3 ~ 2025.6

活動報告

1. 若手研究イノベータ養成センター業績優秀者4名を表彰

2025年3月24日（月）に2024年度若手研究イノベータ養成センター表彰式が執り行われました。センター長の井門康司理事より、直近の年度評価等を基に総合的かつ専門的に判断し選出された業績優秀者（優秀賞1名、奨励賞3名）に表彰状が授与されました。

【優秀賞】湯川 光 助教（電気・機械工学類）

【奨励賞】西田 吉秀 助教（生命・応用化学類）

【奨励賞】安川 直樹 助教（生命・応用化学類）

【奨励賞】小泉 透 助教（情報工学類）



2. ネーミングライツ事業実施契約の締結

本学は、本学の施設等に愛称を設定していただくことでステークホルダーの皆様との連携を拡大し、本学の教育及び研究環境を向上させるため、ネーミングライツ事業を実施しており、この度、株式会社J. CON S I Sと8例目となるネーミングライツ事業実施契約を締結しましたのでお知らせいたします。本学は今後も本事業を推進していきます。

ネーミングライツパートナー：株式会社J. CON S I S

対象施設：24号館 2439講義室

愛称：CON-P（コンプ）

契約期間：2025年4月1日～2028年3月31日



CON-P外観1



CON-P外観2

3. ポズナン工科大学（ポーランド）と「Poland Day（ポーランド・デー）」を開催

本学の学術交流協定校であるポズナン工科大学（ポーランド）と Poland Day（ポーランド・デー） を開催しました。

日時：2025年5月12日（月）10：00～13：00

場所：4号館ホール、NITech Hall

対象者：学生、教職員

内容：

- ・ポズナン工科大学・EUNICE（European University for Customised Education：ポズナン工科大学がコーディネーターとなっている、EUのヨーロッパ10大学のアライアンス）における学術交流の紹介
- ・名古屋工業大学紹介
- ・ポズナン工科大学研究者からの研究発表
- ・ポーランドへの留学に興味がある学生向けのプログラム紹介
- ・フォークダンスアンサンブル POLIGRODZIANIE による公演

参加者数：106名



ポズナン工科大学 Jesionowski 学長（中央右）、井門理事（中央左）



フォークダンスアンサンブルによるパフォーマンス

4. 6月オープンキャンパスの開催

受験生（高校1～3年、既卒生等）及びその保護者を対象にしたオープンキャンパスを開催しました。

日時：2025年6月7日（土）10：00～15：30

対象者：高校1～3年、既卒生等、保護者

内容：

- ・特別講演会

- ①「工学部の学科選び ～自分に合った道を見つける～」アドミッションオフィス長 迫 克也 教授

- ②「名工大のキャリア教育 ～学生生活の先にあるもの～」日原 岳彦 副学長

- ・学科説明及び模擬授業

- ・保護者向け講演会

- ①「大学概要」前田 健一 副学長

- ②「名古屋工業大学の共通教育について～心で工学の実践～」吉田 江依子 副学長

- ・女子学生向け座談会

- ・個別相談会

- ・学内ツアー

参加者数：1,880名



特別講演会「工学部の学科選び」



模擬授業（創造工学教育課程）



女子学生向け座談会

活動予定

1. 8月オープンキャンパス

受験生（高校1～3年、既卒生等）を対象にしたオープンキャンパスの開催を予定しています。

日時：2025年8月1日（金）9：50～16：30

対象者：高校1～3年、既卒生等、保護者

内容：

- ・ 特別講演会
- ・ 保護者向け講演会
- ・ 模擬授業及び研究室見学
- ・ 研究室特別公開
- ・ 座談会
- ・ 学内ツアー
- ・ 女子学生向け座談会

教員の受賞

1. 日本クリエイション大賞

受賞者：社会工学類 北川 啓介教授、北川 珠美研究員

受賞対象：被災地から世界へ広がる“希望”のインスタントハウス

概要：日本クリエイション大賞は、一般財団法人日本ファッション協会が行っている、「より豊かな生活文化の創造に貢献したクリエイション・ワーク」を顕彰するもので、製品、技術、芸術・文化活動、地域振興、環境、福祉などジャンルを問わずクリエイティブな視点で、新たな時代を切り拓いた人物やプロジェクトを表彰しており、その素晴らしさを広く知らしめていくことを目的としています。

社会工学類の北川啓介教授と北川珠美研究員は、研究開発したインスタントハウスを、令和6年能登半島地震の発災の翌日に届け、それ以降も被災地から要請を受けて急ピッチで大量生産の体制を整え、被災者とともに作り、被災者に愛着をもって使いこなしてもらうことで、未来に向かう希望も届けたいと支援を続けていました。

それらの活動が評価され、108件の推薦案件の中から、大賞を受賞し、2025年3月21日（金）に帝国ホテル東京において表彰式が行われました。



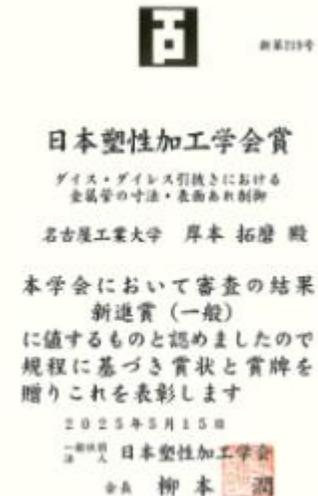
2. 一般社団法人 日本塑性加工学会賞 新進賞

受賞者：物理工学類 岸本 拓磨助教

受賞対象：ダイス・ダイレス引抜きにおける金属管の寸法・表面あれ制御

概要：一般社団法人 日本塑性加工学会賞「新進賞」は、塑性加工分野における学問または技術に関して発展性に富み、将来に活躍が期待される新進気鋭の個人に贈られる賞です。

岸本助教は、これまでに金属管製造プロセスであるダイス引抜きとダイレス引抜きに着目し、包括的に金属管加工技術を発展させました。従来のダイス（金型）に管を通して縮径する空引きでは、肉厚減少が困難とされてきましたが、岸本助教は、塑性力学を基に肉厚が減少する加工条件を明らかにしました。また、ダイス引抜きと金型を用いないダイレス引抜きを複合化し、薄肉かつ平滑な表面を有する金属管の加工条件を明らかにしました。このような金属管はステントを始めとする医療機器への応用が期待されています。加えて、名工大着任後も学内に設置した自作のダイス引抜き装置を用いて、結晶塑性学を基に空引きにおける表面粗さの増加が抑制されるメカニズムを明らかにし、その成果がQ1 ジャーナルである Journal of Research & Technology に掲載されました。これらの業績により新進賞を受賞し、2025年5月14日（水）に塑性加工学会賞贈賞式が行われました。



学生の受賞

1. M-BIP (Matching HUB Business Idea & Plan Competition) 2024 PFU賞

受賞チーム：社会工学科 小川 紗矢(リーダー)
中埜 すみれ
情報工学科 家田 煌矢

受賞対象：kikunote～ケアマネ DX はじめの一步～

概要：Matching HUB Business Idea & Plan Competition (M-BIP)は、北陸先端科学技術大学院大学主催による、地域の若い力をイノベーションにつなげることを目的とした、学生のビジネスアイデアコンテストです。
2024年11月12日(火)に Matching HUB Hokuriku2024 会場内で、全国から応募のあった52提案の中から選ばれた12名が公開プレゼンテーションする形で最終審査が行われ、各賞の受賞者が決定しました。
受賞チームが今回提案した「kikunote～ケアマネ DX はじめの一步～」は、ケアマネジャーという、高齢者一人一人に合わせたケアプラン作成・サービス手配・保険申請等をする業種での業務改善アプリの提案で、日々発生する様々な記録書作成にかかる時間を短縮して報告書の自動化を目指し、事務的な時間を削減し、高齢者やご家族との関わりに時間を割けるようにすることで、ケアマネが専門性で輝ける世界を実現します。



2. アーバンデータチャレンジ 2024 ビジネス・プロフェッショナル部門 最優秀賞、優秀賞

・ビジネス・プロフェッショナル部門 最優秀賞

受賞チーム：株式会社ソシアノッター+白松研

工学専攻知能情報プログラム 牟田 真悟

工学専攻情報工学系プログラム 佐藤 弦

情報工学科 星野 瑞季

・ビジネス・プロフェッショナル部門 優秀賞

受賞チーム：株式会社ソシアノッター+白松研+ボラみみより

工学専攻知能情報プログラム 坂井 裕

受賞対象：（最優秀賞）SAGA スマート街なかプロジェクトの議論支援システム群

（優秀賞）AI を活用した地域資源の発掘と地域助け合いネットワークの構築

概要： アーバンデータチャレンジ (UDC) は、一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会による、地域課題の解決を目的としたデータ活用コミュニティの形成と一般参加型コンテストを組み合わせた試みです。

2025年3月8日（土）に今年度の活動を締めくくる公開最終審査会が開催され、全国から応募された162作品から、一次審査を通過したファイナリスト22作品（一般部門：17、ビジネス・プロフェッショナル部門：5）の作成者によるプレゼンテーションが実施され、イベントへの事前参加申込みを行った参加者によるオーディエンス投票を経て、各賞の受賞作品が決定されました。

（最優秀賞）SAGA スマート街なかプロジェクトの議論支援システム群

情報工学類の松本宇宙研究員、白松俊教授、株式会社ソシアノッターとの共同チームで、佐賀市の一般社団法人地域デザイン総合研究所と連携して取り組んだプロジェクトにおいて、佐賀市のスマートシティに関する議論を支援する幾つかのシステムを開発しました。議論に誰でも参加できるように、生成AIが演じる仮想市民を相手に議論の練習ができる議論シミュレーターと、アイデア発想を支援するAIエージェント、「AI博士ちゃん」が佐賀のまちに関する意見収集をするインタビューbot、対面で行われたワークショップの議論の音声認識結果から、その議論内容を整理する議論構造化システムです。

2024年12月10日には、それら議論支援システムを用いたワークショップを佐賀市で開催しました。

（優秀賞）AI を活用した地域資源の発掘と地域助け合いネットワークの構築

情報工学類の白松俊教授、株式会社ソシアノッター、NPO法人ボラみみより情報局との共同チームで、名古屋市中区社会福祉協議会と連携して取り組んだプロジェクトです。地域の助け合いネットワークに参加してくれそうな組織の情報をWebから収集し、生成AIで情報抽出したりその組織が参加する可能性を評価するシステムを開発しています。2024年11月30日のボラみみ総会では、収集したデータを使って協働・共創の可能性を提案するシステムの体験ワークショップを実施しました。



3. 第21回学生ベンチャーコンテスト2024 Powered by RIMIX 滋賀銀行賞、中央会計賞、三井住友海上賞

受賞チーム：What a noble company

創造工学教育課程 渡邊 寿紀

猪田 泰希

情報工学科 鈴木 唯我

受賞対象：みやげる：お土産購入をより現地で手軽に

概要：「学生ベンチャーコンテスト Powered by RIMIX」は、大学発ベンチャーの創出と起業家精神の育成を目的として、立命館大学が全国の学生を対象として2004年から実施しているビジネスプランコンテストです。

本学チームが開発した、現地で購入するお土産の価値は失わずにお土産をより手軽に購入できるWebサービス「みやげる」は、第21回目の同大会における学生ベンチャーコンテスト部門において、書類審査、2次プレゼンテーション審査を経てファイナリスト5組に選出され、2024年12月14日、グラングリーン大阪の中核機能施設「JAM BASE」にて行われた「[第21回学生ベンチャーコンテスト2024 Powered by RIMIX -THE FINAL PITCH-](#)」のプレゼンテーション審査会に出場し、滋賀銀行賞、中央会計賞、三井住友海上賞の三賞を受賞しました。



4. 第22回キャンパスベンチャーグランプリ中部 中部経済連合会会長賞、AICHI STARTUP BATTLE 2024 2位

受賞者：工学専攻医学工学プログラム 船曳 陸斗

受賞名：第22回キャンパスベンチャーグランプリ中部 中部経済連合会会長賞、AICHI STARTUP BATTLE 2024 2位

受賞対象：medihua（メディファ）

概要：medihuaは、外国人患者向けに日本の高品質な医療をオンラインで簡単に予約・決済できる医療ツーリズム予約プラットフォームです。特に中国市場を中心に展開しており、WeChat および独自のウェブアプリで、AIチャットボットを用いた迅速な相談対応や、医療通訳の手配までを提供することで、言語や文化の壁を超え、日本医療へのアクセスを容易にし、地域経済活性化の促進及びグローバルヘルスケア市場における新たな可能性を拓きます。医療とデジタル技術を融合し、世界中の人々が安心して最適な医療を選択できる社会の実現を目指し、医療分野のDX推進とグローバルな医療アクセスの向上に向けて、今後さらに事業を発展させ、より多くの方々が、安心して質の高い医療を受けられる世界の実現に貢献するため、2024年には株式会社 yolidoli を設立しました。

本研究内容は、2024年12月10日開催の日刊工業新聞主催による学生ビジネスプランコンテスト「第22回キャンパスベンチャーグランプリ」中部大会で中部経済連合会会長賞を受賞したほか、2025年2月18日（火）開催の愛知県内での創業や起業を志す者、あるいは創業間もないスタートアップを対象とした愛知県のスタートアップ支援プログラム「AICHI STARTUP BATTLE 2024」においても書類選考、中間審査等を経てファイナリスト10名に選出され、2位を獲得しました。



キャンパスベンチャーグランプリ受賞報告



AICHI STARTUP BATTLE 2024

5. 第22回キャンパスベンチャーグランプリ中部 奨励賞、STAPS (STATION Ai Program for Students) STAPS 優秀賞

受賞者：工学専攻創造工学プログラム（研究当時）西部 哲矢

受賞対象：Chi iDraw～親子や祖父母との絆を高める新しいコミュニケーションの形～

概要：絵本は子どものつながりのきっかけになります。しかし、絵本は読み聞かせが主流で、子どもが想像したことを表現しにくい構造となっているため、私たちは子どもが自己表現してつながりを深めることを目的とし、絵本生成を通して想像を表現するサービスを開発しています。子どもでも操作可能な言葉選択式のAI ページ作成、言葉を変更して既存の絵本を改変するアレンジ機能を実現しました（特許出願番号 JP2024-179509、出願人・発明者：西部哲矢）。

本研究内容は、2024年12月10日（火）開催の日刊工業新聞主催による学生ビジネスプランコンテスト「[第22回キャンパスベンチャーグランプリ](#)」中部大会で奨励賞を受賞したほか、2025年3月16日（日）に開催された、日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」における学生起業家育成プログラム「[STAPS](#)」の最終ピッチ大会において、STAPS 優秀賞を受賞しました。



キャンパスベンチャーグランプリ



STAPS (STATION Ai Program for Students)

6. 2024 年度日本建築学会東海支部 学生優秀学術講演賞

受賞者：工学専攻創造工学プログラム（研究当時）中原 綾音

受賞対象：帯電した金網を用いた空中を浮遊する花粉の吸着と遮蔽

概要：日本建築学会東海支部 学生優秀学術講演賞は、日本建築学会東海支部研究集会における若手の優秀な講演を顕彰し、当支部の研究活動の活性化を図ることを目的とする。東海支部研究集会で講演した高専学生、大学学部生・修士課程（博士前期課程）大学院生のうち、講演の優秀な方を表彰する。

2025 年 2 月 20 日（木）・21 日（金）大同大学滝春キャンパスに開催された同講演会において、優秀な講演を行ったとして受賞しました。

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。

7. 日本設計工学会東海支部 令和 6 年度研究発表講演会 学生優秀発表賞

受賞者：工学専攻社会人イノベーションプログラム（研究当時）塚原 正浩

受賞対象：電気回路異常検知のための超音波非破壊検査技術の開発

概要：日本設計工学会東海支部研究発表講演会 学生優秀発表賞は、春季および秋季の研究発表講演会における優れた講演発表者を表彰するもので、今回、2025 年 3 月 1 日（土）名城大学天白キャンパスにて開催された同講演会において、優秀な発表を行ったとして受賞しました。

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。

8. 日本材料学会東海支部第 19 回学術講演会 優秀講演賞（学術部門）

受賞者：第二部機械工学科 向山 茜里奈

受賞対象：高圧スライド加工により作製されたアルミニウム合金 6061 シートの高速貫通現象

概要：日本材料学会東海支部学術講演会は、技術立国日本の次代を担う「学生・若手研究者」の交流の場であり、「材料」に関する研究内容を発表した若手研究者の中から、優れた発表をした者に対し優秀講演賞（技術分野/学術分野）を授与しています。

2025 年 3 月 4 日（火）名古屋工業大学にて開催された同講演会において、優秀な講演を行ったとして受賞しました。

受賞者の研究概要については、[こちら](#)をご覧ください。

9. 令和6年度土木学会中部支部研究発表会 優秀講演者賞

受賞者（5名）及び受賞対象：

工学専攻環境都市プログラム [加藤 碩二郎](#)「基礎地盤中の粘土層の位置が堤体と基礎地盤の損傷に及ぼす影響」
同 [佐野 翔騎](#)「地下埋設管周辺の空洞形成過程に及ぼす地下水面形の影響」
同 [中江 奏太](#)「発地域別距離帯別の時間変動係数に基づく時間帯別 OD 交通量の逆推定手法」
同 [弓場 翔太](#)「矢作川河川敷で出土した木杭列の酸素同位体比年輪年代法による年代推定」

工学専攻社会工学系プログラム（研究当時）[木村 駿哉](#)「説明可能な AI を用いた津波常襲地域における建物用地化に寄与した要因の分析」

概要：中部支部研究発表会は、支部会員の方々を対象に、土木工学や土木技術等に関する研究や成果を発表することにより、会員間の有益な情報を交換する場として毎年開催しています。本賞は、土木学会中部支部研究発表会において、講演原稿として投稿されたものの中から、優れた研究成果や業績を表彰するものです。

2025年3月7日（金）富山大学射水キャンパスにて開催された同発表会において、優れた研究成果として発表を行い、受賞しました。各受賞者の研究概要については、各受賞者氏名のリンク先をご覧ください。

10. 電気化学会第92回大会 優秀学生講演賞

受賞者（2名）及び受賞対象：

工学専攻材料機能プログラム [瀬瀬 大幾](#)「3D インピーダンス法による銀粒子担持シリコン電極における金属触媒エッチングの反応速度解析」
工学専攻生命・物質化学プログラム [景山 結衣](#)「白金触媒を用いた調光銀ミラーデバイスにおけるクエン酸添加剤の影響」

概要：電気化学会は、電気化学の基礎と応用に関する研究の推進と、それを基礎とする産業技術の進歩を図り、それを通じて学術文化の進展と社会の発展に寄与することを目的として、1933年に設立されました。本賞は、2025年3月19日（水）東京農工大学小金井キャンパス電気化学会第92回大会において、優秀な講演を行った学生に「優秀学生講演賞」を授与し、表彰したものです。受賞者の研究概要については、各受賞者氏名のリンク先をご覧ください。

研究成果

1. 神取 秀樹特別教授らの研究グループによる研究成果が、英国の科学誌「Nature Microbiology」のオンライン版に掲載されました（2025年5月29日掲載）。

生命・応用化学教育類神取 秀樹特別教授、片山 耕大准教授、吉住 玲研究員、板倉 彰汰大学院生（研究当時）、水野 陽介大学院生らの研究グループは、真核生物の共通祖先に最も近い現生生物種の一つであるヘイムダル古細菌が、カロテノイド色素を用いて、高効率に太陽光のエネルギーを捉えることで、それを元に水素イオン（H⁺）を輸送し、化学エネルギーへと変換するタンパク質である「ヘイムダルロドプシン」を持つことを明らかにしました。

本研究では、先端的なレーザー技術を用いた分光計測により、ヘイムダルロドプシンのカロテノイド色素が光アンテナとして光を捉え、そのエネルギーをH⁺輸送に利用することを世界で初めて明らかにしました。またX線結晶構造解析によって、多様なカロテノイド色素の結合に適した独自の構造を捉えることにも成功しています。これまでヘイムダル古細菌が高効率で光を捉え、自身の生育に役立っているという事実は全く知られておらず、生命の進化を考える上で重要な、この種のこれまでにない新たな一面を明らかにした点で本研究成果は大きな学術的意義を有します。またヘイムダルロドプシンはルテインなど、ヒトの体内にも存在するカロテノイドを利用することから、本タンパク質は新たな生体分子ツールとして、今後高感度な視覚再生や、光を用いた神経疾患治療技術の開発に役立つことが期待されます。

本成果は、英国の科学雑誌「[Nature Microbiology](#)」の5月29日付オンライン版に掲載されました。

その他

1. 名古屋工業大学国際戦略の策定について

2025年4月1日付けで、[名古屋工業大学国際戦略](#)を公表しました。

本学憲章を受け、国際面では「中京地域産業界との共創」による技術開発、課題解決を進めるため、世界トップレベルの先端研究を推進するためのグローバル化とダイバーシティに富む研究環境の構築を目標とし、世界有数の産業集積地である中京地域に立地する工業系大学の優位性を活かし、教育研究力を向上させるための国際戦略として、4つの項目を提示しています。

名古屋工業大学国際戦略イメージ図



I 国際共同研究の推進

II 国際的な人的交流の促進

III グローバル高度工学人材の育成

IV 国際化推進体制の整備

- 名古屋工業大学は革新的な学術・技術を創造し、有為な人材を育成し、社会の平和と幸福に貢献することを基本使命とする。
- 国際面では「中京地域産業界との共創」による技術開発、課題解決を進めるため、世界トップレベルの先端研究を推進するためのグローバル化とダイバーシティに富む研究環境の構築を目標とする。
- 世界有数の産業集積地である中京地域に立地する工業系大学の優位性を活かし、教育研究力を向上させるための国際戦略を策定。

